



おおさか災害支援ネットワーク 第2回 報告

平成 26 年 10 月 8 日(水)午後 3 時～6 時、「第 2 回 おおさか災害支援ネットワーク～今、はじまった 災害支援ネットワーク～」を、大阪赤十字会館にて開催しました！

毎回、災害支援にかかわる場所の視察も兼ねる目的から、今回は日本赤十字社大阪府支部のご協力により実施しました。

“顔の見える関係”づくりを目的に、学びと情報交換の場への参画を呼びかけたところ、前回は上回る 計 41 団体・67 人の方にご参加いただきました。



セッション1)

日本赤十字社の組織と災害時の取り組みを知る



日本赤十字大阪府支部
青少年・ボランティア課長
嶋谷さん

嶋谷さんからは、赤十字の歴史やマークの意味、日本赤十字社の法的根拠、事業・活動体制、さらに多彩な赤十字奉仕団についてご紹介いただき、身近なのに意外と知らなかった、日赤さんの活動内容を学びました。

～参加者の声～

「成り立ちや災害時の役割についてよく理解できた」、「名前は知っていても、具体的には分からなかったので、とても参考になりました」、など。

セッション2)

南海トラフ巨大地震についてー被害想定と対策ー



大阪府危機管理室災害対策課
災害対策グループ 主査
富銅さん

富銅さんからは、南海トラフ巨大地震の被害想定をベースに、津波の速度や浸水域、ライフラインの被害と復旧、帰宅困難者数などについて、具体的な数値を示してご説明いただき、災害の規模をよりリアルに感じました。

～参加者の声～

「南海トラフの実態がよく分かり意義深かった」、「地震の被害想定を詳しく知ることができ良かった」、など。

★「もっと聞きたい」とのご指摘も多く受け、あらためて、大阪府の減災の取り組みを聞く機会を設定します。



■参加団体(50音順)

<大阪府内>

大阪府危機管理室地域防災活動アドバイザー、(一社)大阪青年会議所、大阪府共同募金会、大阪府生活協同組合連合会、大阪ボランティア協会事務局、同企業市民活動推進センター、大阪よどがわ市民生活協同組合、(一社)大阪労働者福祉協議会、近畿労働金庫 地域共生推進部、市民フォーラムおおさか、生活協同組合おおさかパルコープ、生活協同組合コープこうべ大阪北地区活動本部、全労済 大阪府本部・総務部、(認特)トッギャザー、(特)日常生活支援ネットワーク、日本赤十字社大阪府支部、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(社会福祉協議会・・・池田市、茨木市、大阪狭山市、大阪市、大阪市(此花区・城東区・浪速区・西成区・西淀川区・都島区・淀川区)、大阪府、交野市、門真市、河南町、河内長野市、堺市、吹田市、千早赤阪村)

<大阪府外>

生きる力を育む研究会、(特)しがNPOセンター、(特)わかやまNPOセンター、(一社)ピースボート災害ボランティアセンター

※本事業は、2014年度近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度で実施しました。

セッション3) 淀川区災害ボランティア活動シミュレーション

南海トラフ巨大地震による被災地として淀川区をモデルに、より実践的な内容に即した支援のあり方をグループワークで検討しました。

グループ分けは、以下5つのテーマから参加者が興味のあるものを選んでいただき、結果、8グループに分かれて、「どの様な被害が考えられるか」や「どの様な支援が必要か」、「具体的にどの様な取組・連携・コーディネートが可能か」を討議し、その後、各グループから発表いただきました。

<検討テーマ>①「ヒト(ボランティア・VC 運営支援など)」
②「モノ」 ③「カネ」 ④「情報」 ⑤「72時間」



今回もファシリテーターは・・・
大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
濱辺さん

大川さんから、
「淀川区における災害支援について」と題して、ボランティアセンターの組織運営や地域との連携、区内の被害想定についてご説明いただきました。

★淀川区社協の皆さん、防災マップや資料等をご準備くださりありがとうございました！

最後は、参加団体から情報提供！



～参加者の声～

「色々な関係者と意見を交わすことができ良かった」、「様々な視点から災害対応の取り組みの検討ができた」、「グループワークの論点が分かりにくかった」、など。
★「参加者の相互理解」を目的に、次回以降、もっと工夫したワークショップを企画します。

ヒト

被災者や避難所、在宅生活者への人的支援。



社協職員(VC 運営支援者)の派遣、ボランティア連絡会による運営支援。通訳ボランティア、避難所で子どもの支援、炊き出し、企業への支援要請、物資配布応援。



大阪市淀川区社会福祉協議会
地域支援担当副主幹
大川さん

カネ

府共募準備金、全社協の福祉救援活動資金、行政の災害救助基金など。



モノ

「何が欲しいか」を頼めるネットワークへ！
一輪車や車両、トラック、食料・水、医療品、衛生用品、トイレ、福祉避難所向けの寝具、情報伝達機器、赤ちゃん用品、など。

情報

いかに被害状況や避難所の情報等を把握するか。外国人へ情報提供の方法。組織同士、キーパソンとつながっているか。などなど。



72h

帰宅困難者に協力を仰げないか。要援護者への対応。陸の孤島になるのでは！



★終了後は、ダイニングに場所を移して、引き続き交流を深めました(^^)。ゆるやかなながら、しなやかなネットワークをこれから共に築いていきましょう！
今後とも、よろしくお願いいたします！！



次回は、
平成27年1月20日に
開催します。ご期待！
詳細は右記まで。

【世話役団体】

(福)大阪ボランティア協会 担当：永井 (TEL:06-6809-4901)
(福)大阪府社会福祉協議会 担当：青木 (TEL:06-6762-9631)
(福)大阪市社会福祉協議会 担当：濱辺 (TEL:06-6765-4041)
(福)堺市社会福祉協議会 担当：森田 (TEL:072-232-5420)

※あらたに、大阪府生活協同組合連合会も世話役に加わりました！